

# TOTO

## 床排水便器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。  
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

### 安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。

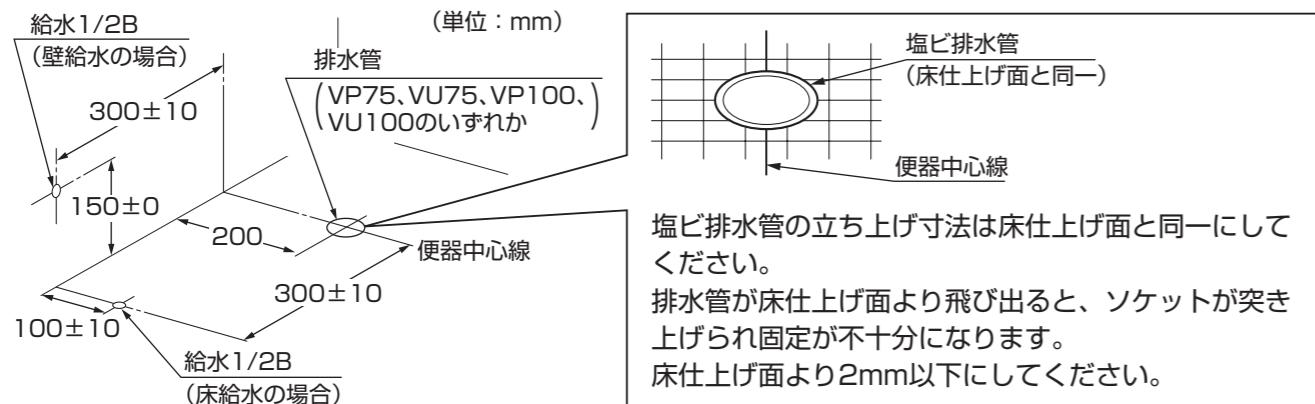
表示	意味
△注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を示します。お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。	
（左図）（右図）	（左図）は、してはいけない「禁止」内容です。（右図）は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「禁止」を示します。右図は、「必ず実行」を示します。

△注意	
（禁止）	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
（必ず実行）	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

同梹部品		
※部品があるか、下記を参照して確認してください。		
便器本体	排水ソケット	アダプター(VU75用)
（1個）	（1個） ※ゴムジョイント付き	（1個）
化粧キャップ類	その他	
化粧キャップ（4個）	木ねじ（便器固定用） （φ4.8×63） (4本)	施工説明書 (1部)
	ワッシャー (4枚)	

### 取り付け前のご注意

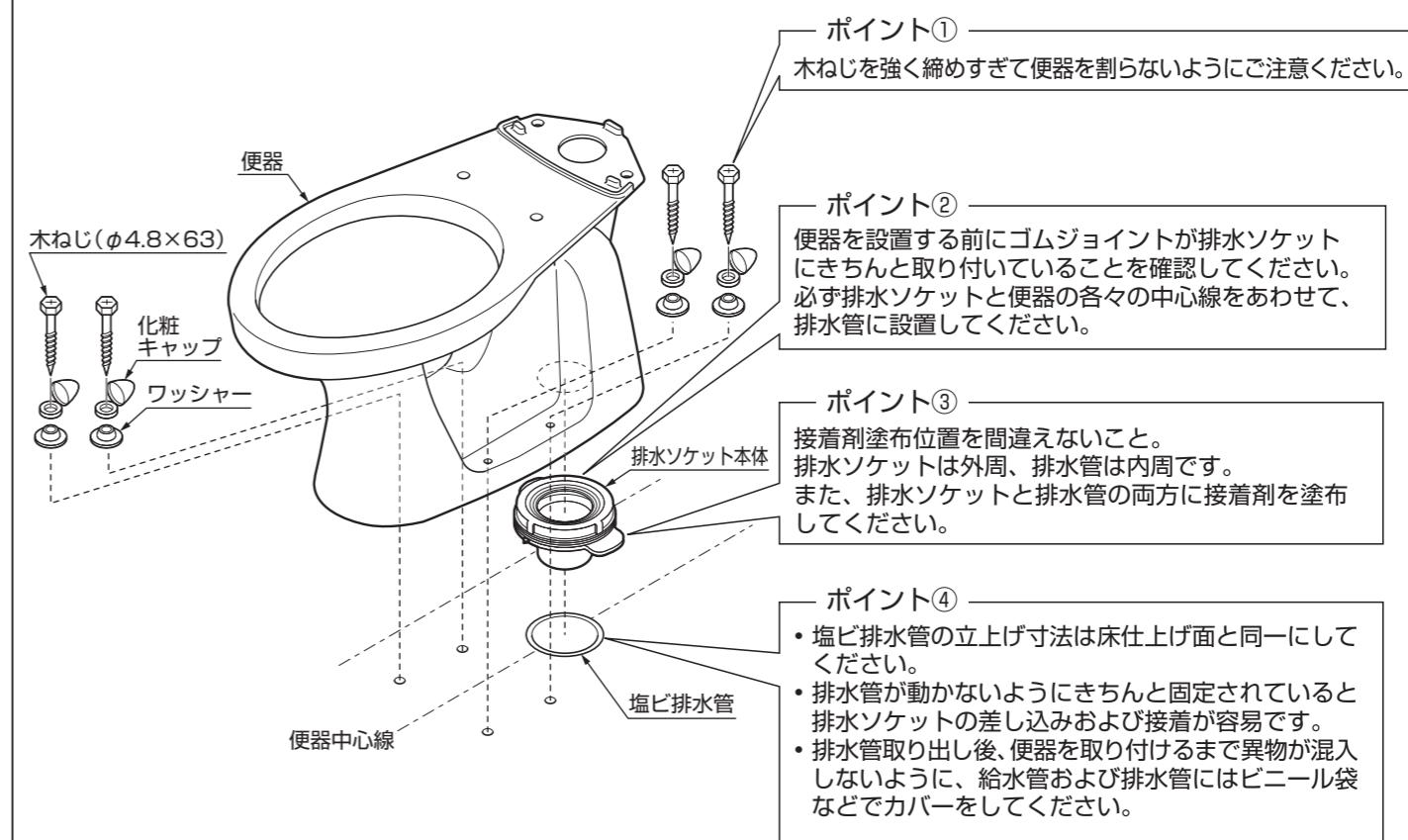
- 取り付けに必要なトレイスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- 給水圧力は最低必要水圧(流動時):0.05MPa、最高水圧(静止時):0.75MPaです。  
この圧力範囲でご使用ください。
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- 取付面がコンクリート、モルタルの場合は、樹脂プラグ「HH04060 (φ8、10個1組)」を別途手配してください。



### △注意

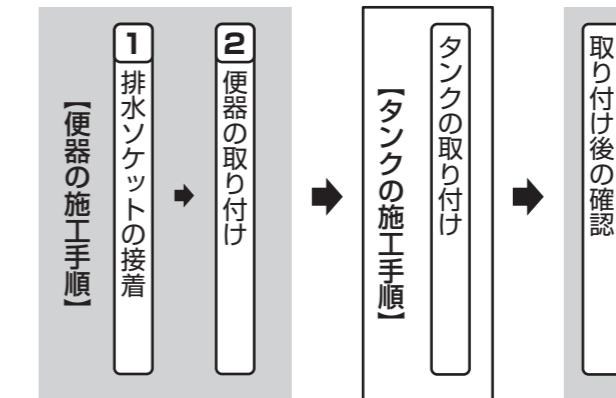
（必ず実行） 塩ビ排水管がVP100、VU100の場合は、100用アダプターHH01004（オプション）を使用する  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

### 各部のなまえと施工のポイント



### 施工手順

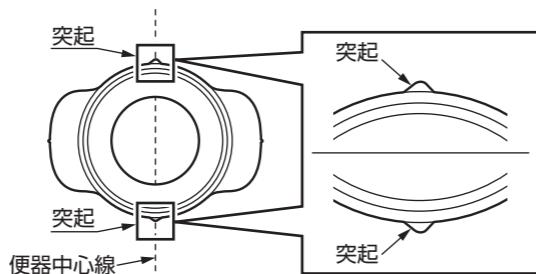
この施工手順に従って便器・タンクを正しく取り付けてください。（■は本紙、□はタンクの施工説明書を参照ください）



## 取付方法

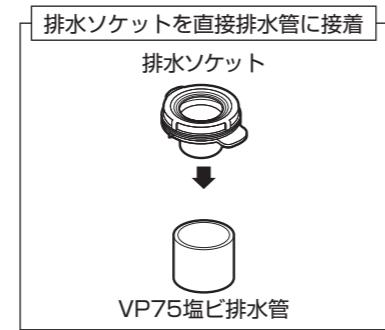
### 1 排水ソケットの接着

排水ソケットは、突起を便器中心線にあわせて取り付けてください。



#### ■排水管がVP75の場合

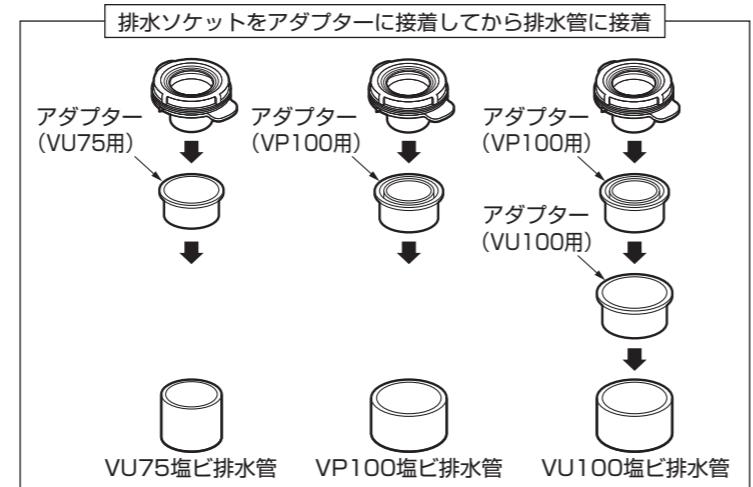
排水ソケットと排水管の接続部に塩ビ用接着剤を十分塗り、排水管に押し込む。



#### ■排水管がVP75以外の場合

①アダプターを塩ビ用接着剤で排水ソケットの接続部に接着する。

②排水ソケットと排水管の接続部に塩ビ用接着剤を十分塗り、排水管に押し込む。



**注意**

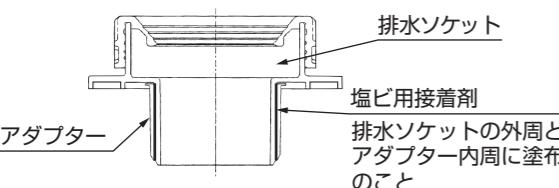
- 排水管のバリ、汚れは必ず除去してください。
- 一度接着すると、手直しができませんのでご注意ください。

#### △注意

●排水ソケットとアダプターは塩ビ用接着剤で接着する

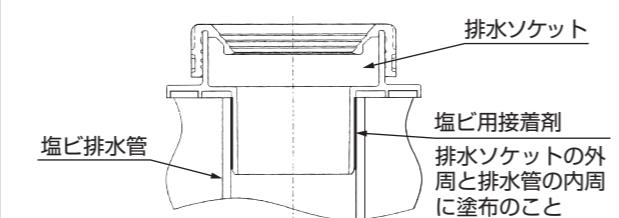
●接着剤の塗布面は汚れを取り除き、排水ソケットとアダプターの両方に接着剤を十分塗布する

接着が不十分だと漏気や水漏れのおそれがあります。



●接着剤は排水ソケットと排水管の両方に十分塗布する

接着剤の塗布位置を間違えたり、片側のみ塗布したりすると漏気や水漏れのおそれがあります。



## 2 便器の取り付け

①便器の排水口を排水ソケットに差し込んで便器を仮置きし、木ねじの位置をかけぐ。

※便器中心線と便器の中心がほぼ一致するように注意してください。

※ゴムジョイントの表面をぬらしておくと、便器の差し込みが容易です。

②便器をいったん取り外して便器固定用の下穴(4カ所)を床にあける。

※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

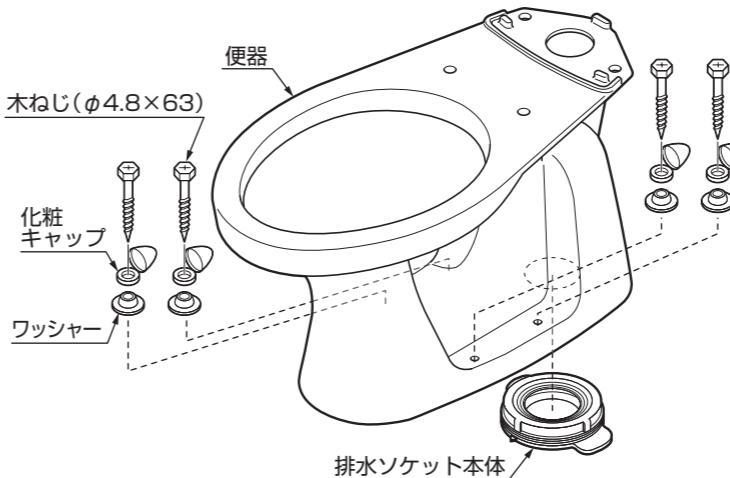
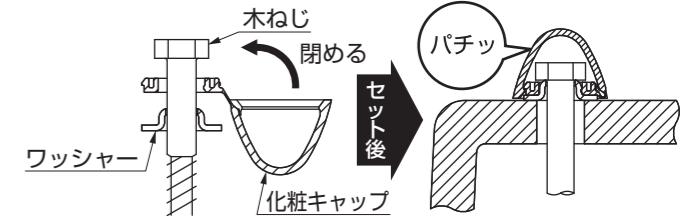
③便器排水口周辺のゴミや水分を取り除き、便器の排水口を排水ソケットに差し込み、便器固定用の穴4カ所を木ねじで締め付けて床に固定する。

※木ねじを強く締めすぎて便器を割らないようご注意ください。

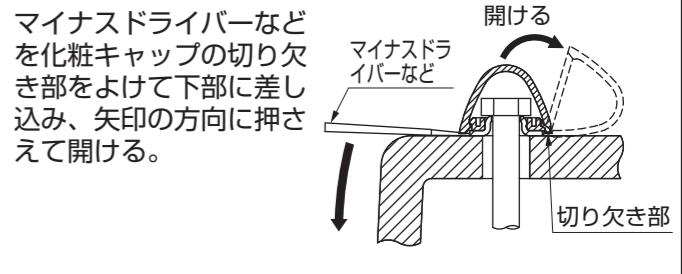
④便器を固定後、木ねじに化粧キャップをかぶせる。

④-1 最初に化粧キャップを開ける。開ける木ねじを手で持ち、切り欠き部をよけて化粧キャップの下部を矢印の方向に指で押し上げる。

④-2 木ねじを取り付けたあと、化粧キャップを矢印の方向に「パチッ」と音がするまで押し込む。



### 化粧キャップの取り外しかた



## タンクの取り付け

タンクの取り付けはタンク同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

## 取り付け後の確認

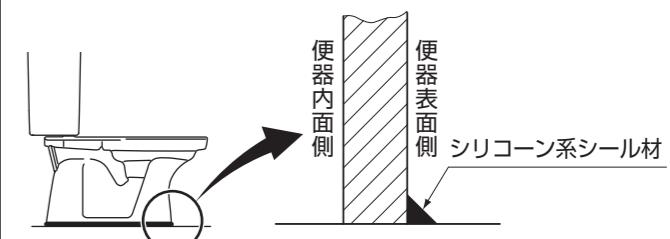
・試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。  
もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。

・陶器表面に傷などがないことを確認してください。  
陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。  
スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。

・施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーティング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

## お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。  
フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコーン系シール材を充てんすることをおすすめします。



\*同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

\*本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。